



2050年、この星のどこかで。
君たちは笑っていますか。

カーボンニュートラルという言葉がまだなかった数十年前から、
グループ全社をあげて、脱炭素に取り組んでいます。

- 

再生可能エネルギー・
エネルギーマネジメント

30年以上稼働してきた再生可能エネルギー発電の稼働を高め、社会、トヨタグループ、豊田通商グループのカーボンニュートラル達成に貢献。
- 

バッテリー

当社グループ、顧客、パートナーのつながりを強化し、世界の真摯な期待からサプライチェーン全体でのカーボンニュートラルに貢献。
- 

水素・代替燃料

クリーン水素の地産地消モデルとして、世界を代表するLHA車を皮切りに水素・代替燃料、電気や燃焼エンジンのカーボンニュートラルを知識。
- 

資源循環・3R

「CO₂を減らす・無くす、CO₂から作る」をキーワードに、カーボンニュートラル達成に向け、資源循環システムを構築。
- 

エコノミー・
オープンライフ

工場群を有効活用したバリエーション豊かなカーボンニュートラルを実現。顧客主体の環境にBAITCOの取り組み、EV/プラグインEVと推進。

未来の子供たちに、よりよい地球環境を。
とどける商社、豊田通商。

Be the Right ONE
 豊田通商

豊田通商グループ 会社説明会

2023年3月10日(金) 20:00~
豊田通商株式会社
 (証券コード 8015)

目次

I. 会社概要～豊田通商とは～

II. 業績推移

III. 当社の重点戦略

- 再生可能エネルギー

- アフリカ

IV. 株主還元方針

目次

I. 会社概要～豊田通商とは～

II. 業績推移

III. 当社の重点戦略

- 再生可能エネルギー

- アフリカ

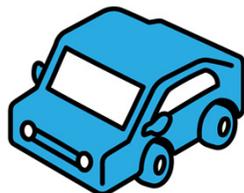
IV. 株主還元方針

数字で見る豊田通商

豊田通商株式会社（証券コード8015） 2022年3月末時点



設立
1948年



主要株主
トヨタ自動車
21.69%



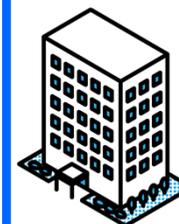
連結従業員数
約65,000名



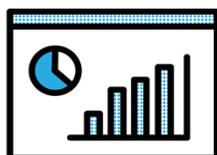
グローバル
ネットワーク
約130カ国



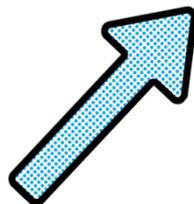
Be the **Right ONE**



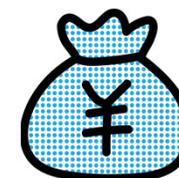
連結関係会社数
国内外合わせて
約1,000社



22/3期
当期利益
2,222億円
過去最高益更新



株式
時価総額
約1.8兆円



1株当たり配当金
@160円
12期連続増配

豊田通商とは

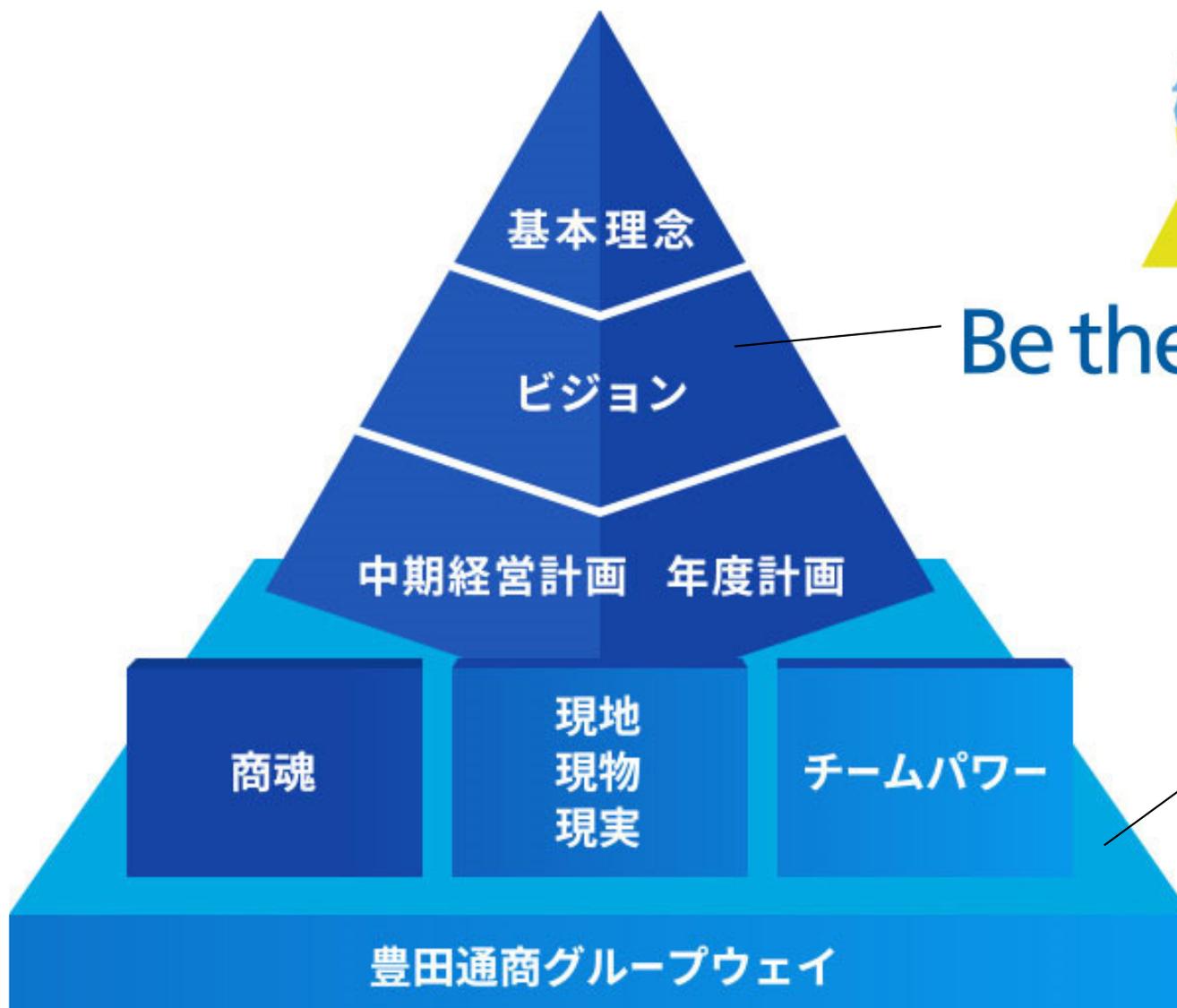
営業本部		自動車	自動車以外
金属	自動車鋼材、金属製品、非鉄金属、金属資源		
グローバル部品 ・ロジスティクス	自動車構成部品、物流事業、タイヤ組付け		
自動車	自動車等(二輪車、トラック、バス含)の輸出・小売、販売周辺		
機械・エネルギー ・プラントプロジェクト	車輜生産設備、エネルギー、プラント、各種機械		
化学品 ・エレクトロニクス	化学品、合成樹脂、エレクトロニクス		
食料・生活産業	穀物、食品、保険、アパレル関連、介護・医療用品		
アフリカ	モビリティ、ヘルスケア、消費財、電力・インフラ・テクノロジー		

豊田通商とは

Global Vision



Be the **Right ONE**



ビジョン達成に向け、
役職員が共有すべき
価値観・行動原則

目次

I. 会社概要～豊田通商とは～

II. 業績推移

III. 当社の重点戦略

■ 再生可能エネルギー

■ アフリカ

IV. 株主還元方針

業績推移

<当期利益 過去20年間の推移>

01/3期比 : **+27.1倍**

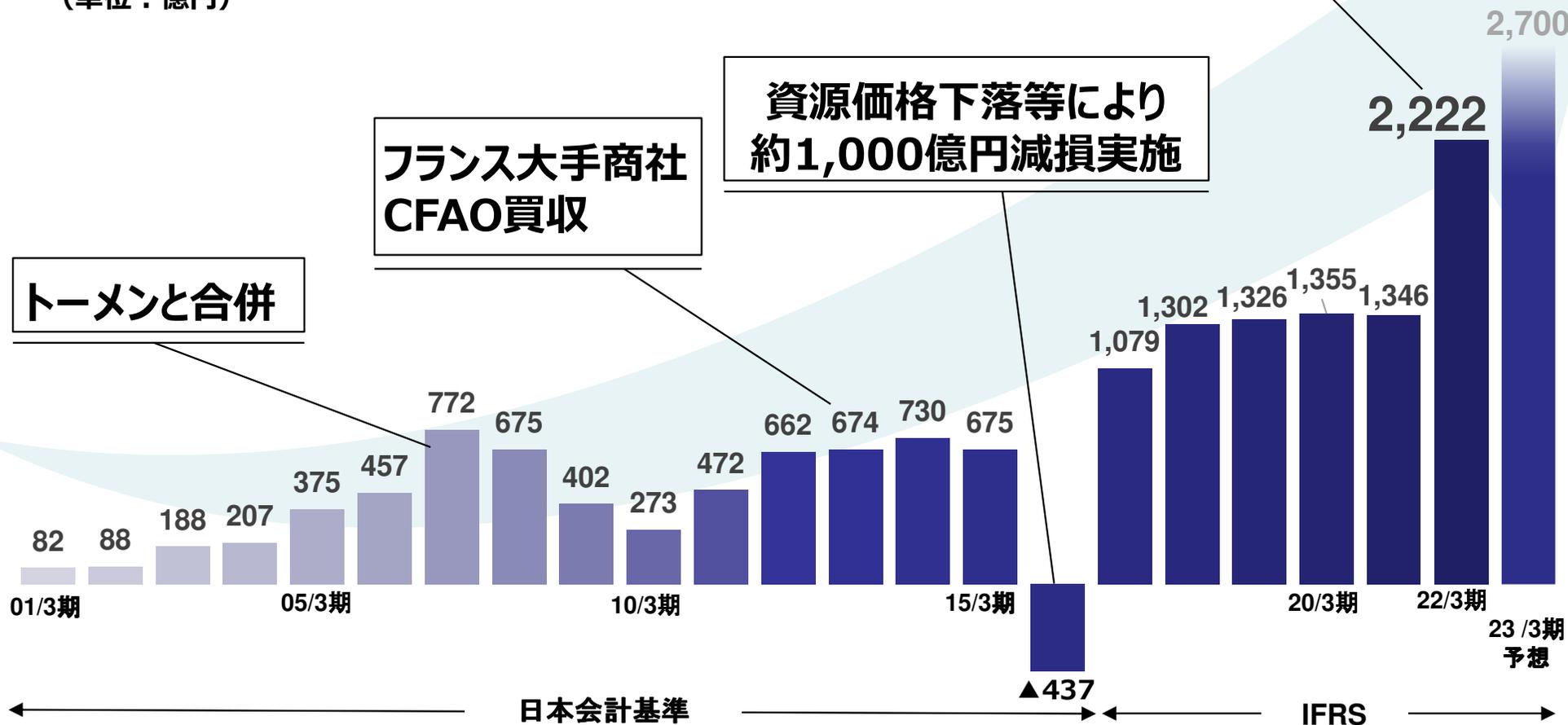
(単位：億円)

22/3期
過去最高益達成

資源価格下落等により
約1,000億円減損実施

フランス大手商社
CFAO買収

トーマンと合併



目次

I. 会社概要～豊田通商とは～

II. 業績推移

III. 当社の重点戦略

■ 再生可能エネルギー

■ アフリカ

IV. 株主還元方針

当社の重点戦略



5つのワーキンググループ^o



カーボンニュートラルの取り組み

築き上げてきた競争優位性

ネクスト
モビリティ

再生可能
エネルギー

アフリカ

循環型静脈

経営の土台：豊田通商らしさ

豊田通商グループウェイ

商魂

現地 現物 現実

チームパワー

当社の重点戦略

ネクストモビリティ

- ・バッテリー需要に備えた電池サプライチェーンの積極拡充
- ・北米におけるトヨタ電池工場への投資実行
- ・炭酸リチウムの生産 @アルゼンチン



再生可能エネルギー

- ・電力バリューチェーンにおける機能拡張
- ・国内外における多様な電源リソース展開
- ・国内No.1電力事業会社 100%子会社化



アフリカ

- ・人口増加、中間層拡大を見据えた戦略
- ・アフリカにおけるプレゼンスNo.1
- ・バリューチェーンの拡大による事業成長



循環型静脈

- ・1970年代から続く、自動車リサイクル事業
- ・バッテリー 3 R 事業の取組
- ・自動車関連の知見 →プラスチックリサイクルへの展開



当社の重点戦略

ネクスト モビリティ

- ・バッテリー需要に備えた電池サプライチェーンの積極拡充
- ・北米におけるトヨタ電池工場への投資実行
- ・炭酸リチウム

再生可能 エネルギー

- ・人口増加
- ・アフリカにおけるプレゼンスNo.1
- ・バリューチェーンの
拡大による事業成長



再生可能 エネルギー

- ・電力バリューチェーンにおける機能拡張
- ・国内外における多様な電源リソース展開
- ・国内N

アフリカ

- ・1970年代
- ・バッテリー 3 R 事業の取組
- ・自動車関連の知見
→プラスチックリサイクル
への展開

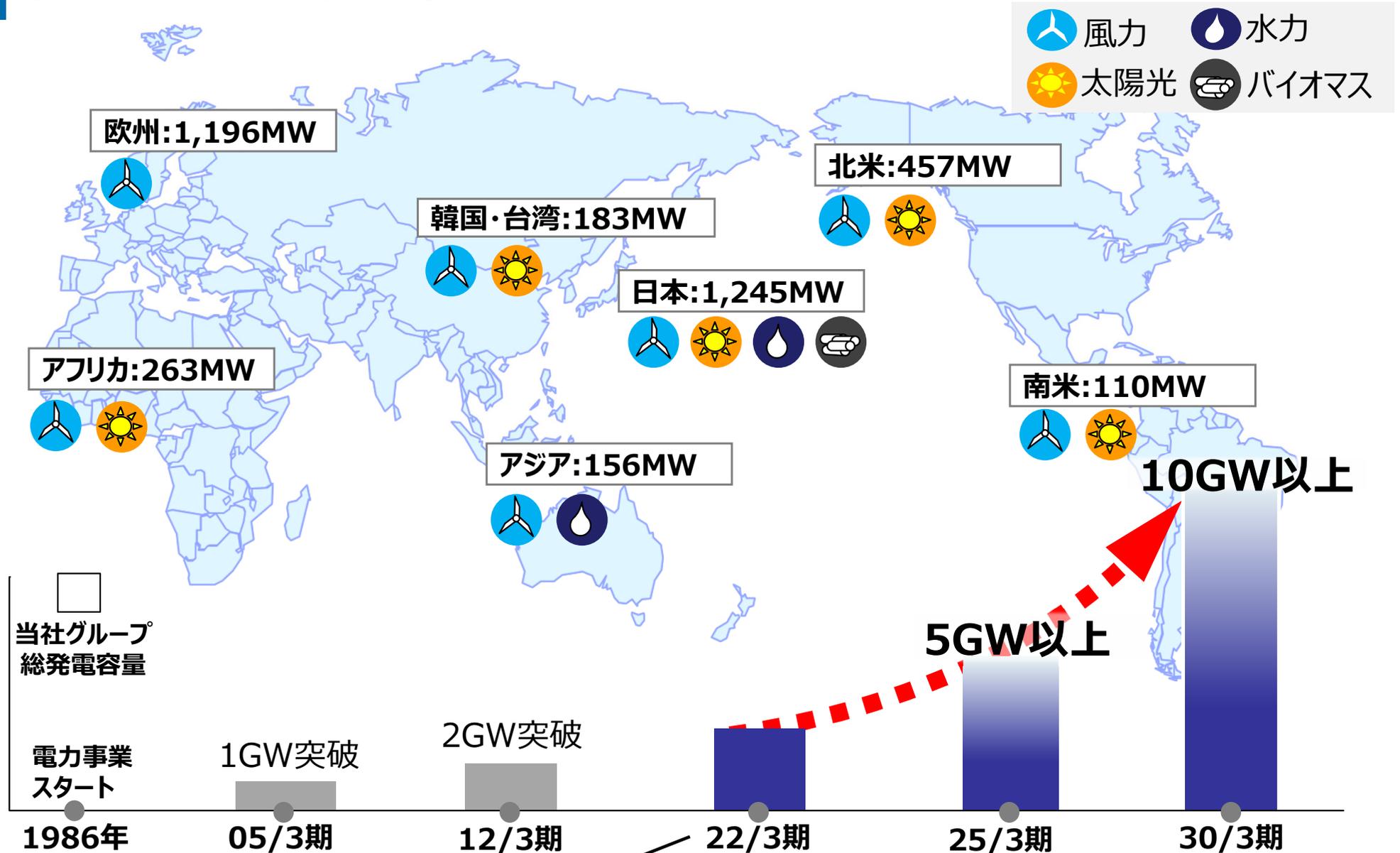




Be the **Right ONE**

**再生可能
エネルギー**

再生可能エネルギー地域別発電容量



合計 **3,610** MW = 約3.6GW 原子力発電 **3**基分相当(2022年3月末)

電力バリューチェーンの拡大

調べる

つくる

集める

整える

届ける

現在

風況調査



南アフリカ
windlab 社



日本レラテック社

コアとなる開発力強化
トヨタG向絶対量確保



陸上風力



水力



太陽光

電力バリューチェーン機能幅だし

日本：北海道（発電/蓄電/送電事業）

総事業費 **2,300**億円



発電量 540MW



送電線 約78km



世界最大級の蓄電池システム

25/3月期



洋上風力
電力バリューチェーンを
強みとした戦略

イメージ図



地熱発電

取り組み事例



ユーラス宗谷岬ウインドファーム(北海道)

取り組み事例

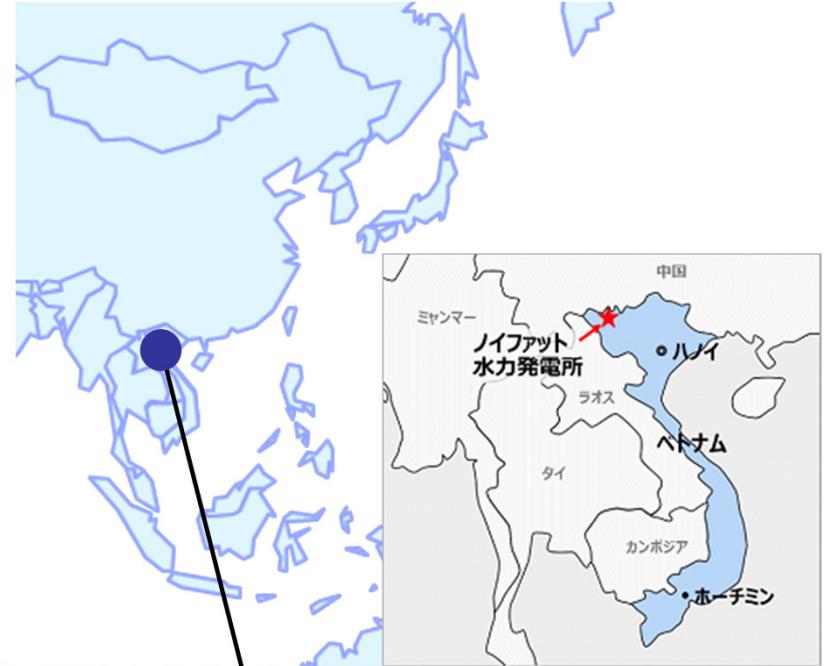


ユーラス六ヶ所村ソーラーパーク(青森県)

取り組み事例



スエズ湾風力発電事業（エジプト）



ノイファット水力発電所（ベトナム）

直近の再生エネルギー戦略の取り組み

ユーラスエナジーHDの 100%完全子会社化

2022年8月1日実行

1,850億円の大型投資
東京電力より40%株式を取得

当社が培ってきた再生可能エネルギー開発
の知見を最大化

機動性と戦略の**柔軟性**向上

当社グループ一丸となり、
洋上風力をはじめとした再エネの付加価値創出

当社プレスリリース
https://www.toyota-tsusho.com/press/detail/220801_006059.html

SBエナジーの 85%株式取得の合意

2023年2月9日プレスリリース

両社グループの
再生可能エネルギー事業のシナジーを最大化し
カーボンニュートラルの取り組みを加速

風力に加え、太陽光でも
国内最大規模の発電事業者となる

電源リソースの多様化により、さらなる再エネの
普及促進と多岐にわたる市場ニーズに応える

当社プレスリリース
https://www.toyota-tsusho.com/press/detail/230209_006183.html

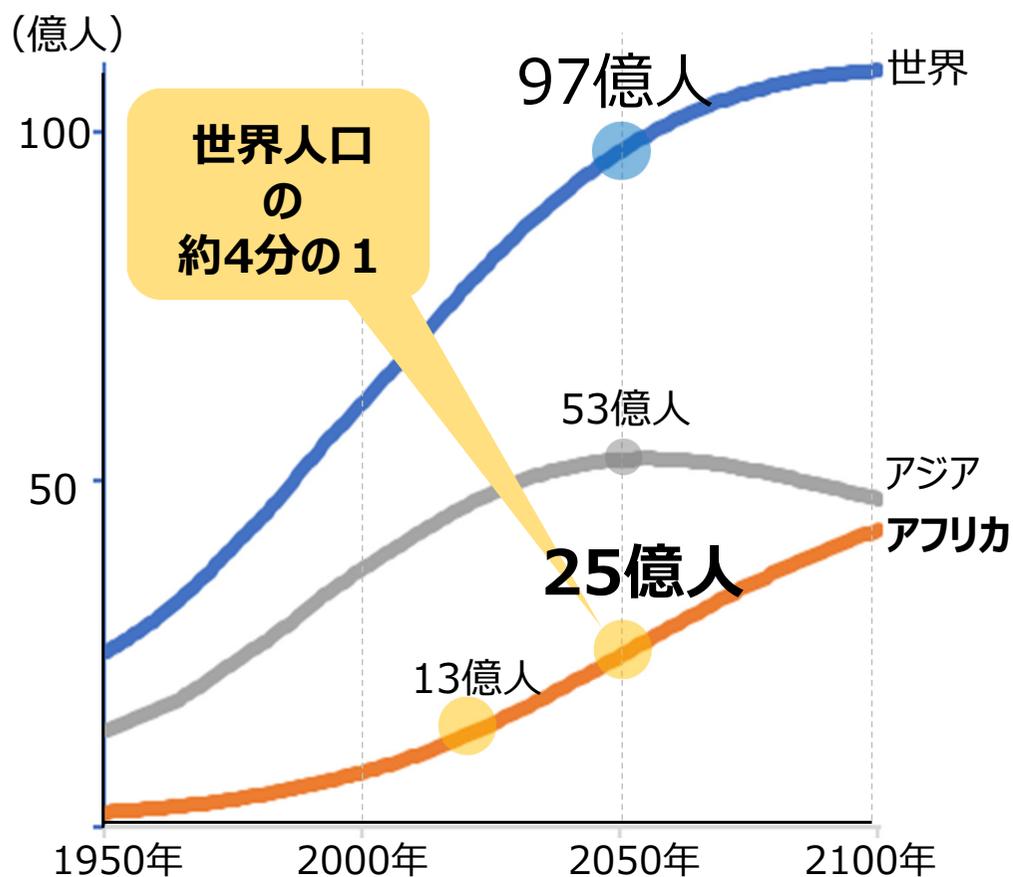


Be the **Right ONE**

アフリカ

アフリカのポテンシャル

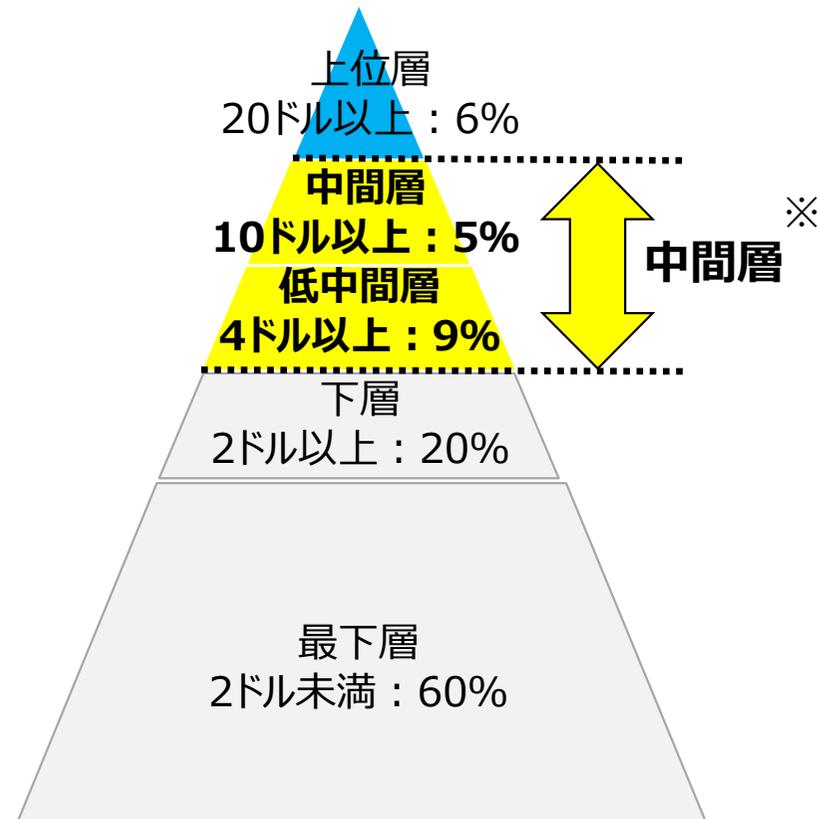
急速な人口増加



出典:United Nations
" World Population Prospects 2019"

拡大する中間層

<アフリカの一日平均所得額>



※アフリカにおける中間層：
1日当たり4～20ドル消費可能な所得層

出典：Based on African development bank
(data 2015)

現地に根差したネットワークと歴史



TOYOTA TSUSHO

- 1852年** アフリカでの事業開始
- 1913年** 自動車関連事業の開始
- 1970年** トヨタ車の取扱開始
- 1994年** ハイネケン社と業務提携
- 1996年** ユーラファーマ社の株式取得

1900年

1922年 ウガンダにおける綿花取扱開始

1964年 日本製完成車の輸出開始

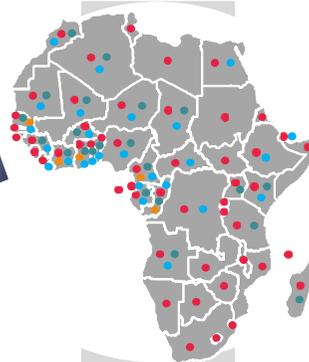
2000年

2000年 アフリカ統括拠点を南アに設置

2012年 フランス最大の商社CFAOの株式を取得

中・西部アフリカ
における強み

東・南部アフリカ
における強み



170年

100年

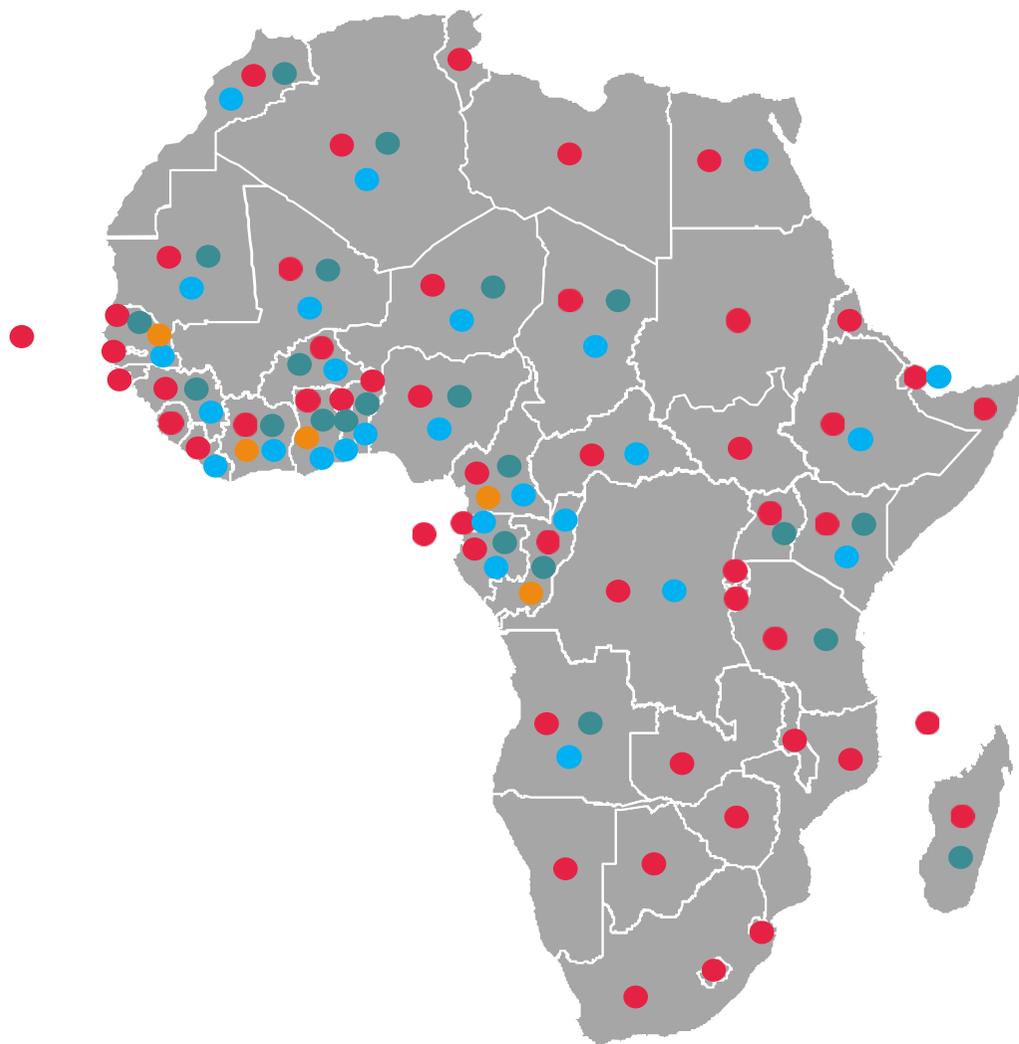
2017年 地域を軸とした営業本部「アフリカ本部」を設立

2019年 トヨタ自動車よりアフリカ営業業務を全面移管

2023年

アフリカにおけるプレゼンスNo.1

WITH AFRICA FOR AFRICA



アフリカ全**54**カ国でネットワーク

グループ企業**155**社

従業員約**22,000**名

主要4事業と展開国

モビリティ	ヘルスケア
54	22
電カ・インフラ・テクノロジー	消費財
26	5

主要な事業領域

生産事業 (川上)

現地生産への挑戦
« Made in Africa »



輸入・卸売・物流

既存コアビジネス

モビリティ

サブサハラ※1の
マーケットリーダー
(B2B、B2G※2)

ヘルスケア

モロッコ、
サブサハラ、仏海外県の
マーケットリーダー

消費財

日用消費財と
ビール市場への
チャレンジ

電力・インフラ・ テクノロジー

情報通信技術と
エレベーター事業への
チャレンジ
(B2B とB2G)

小売り事業 (川下)

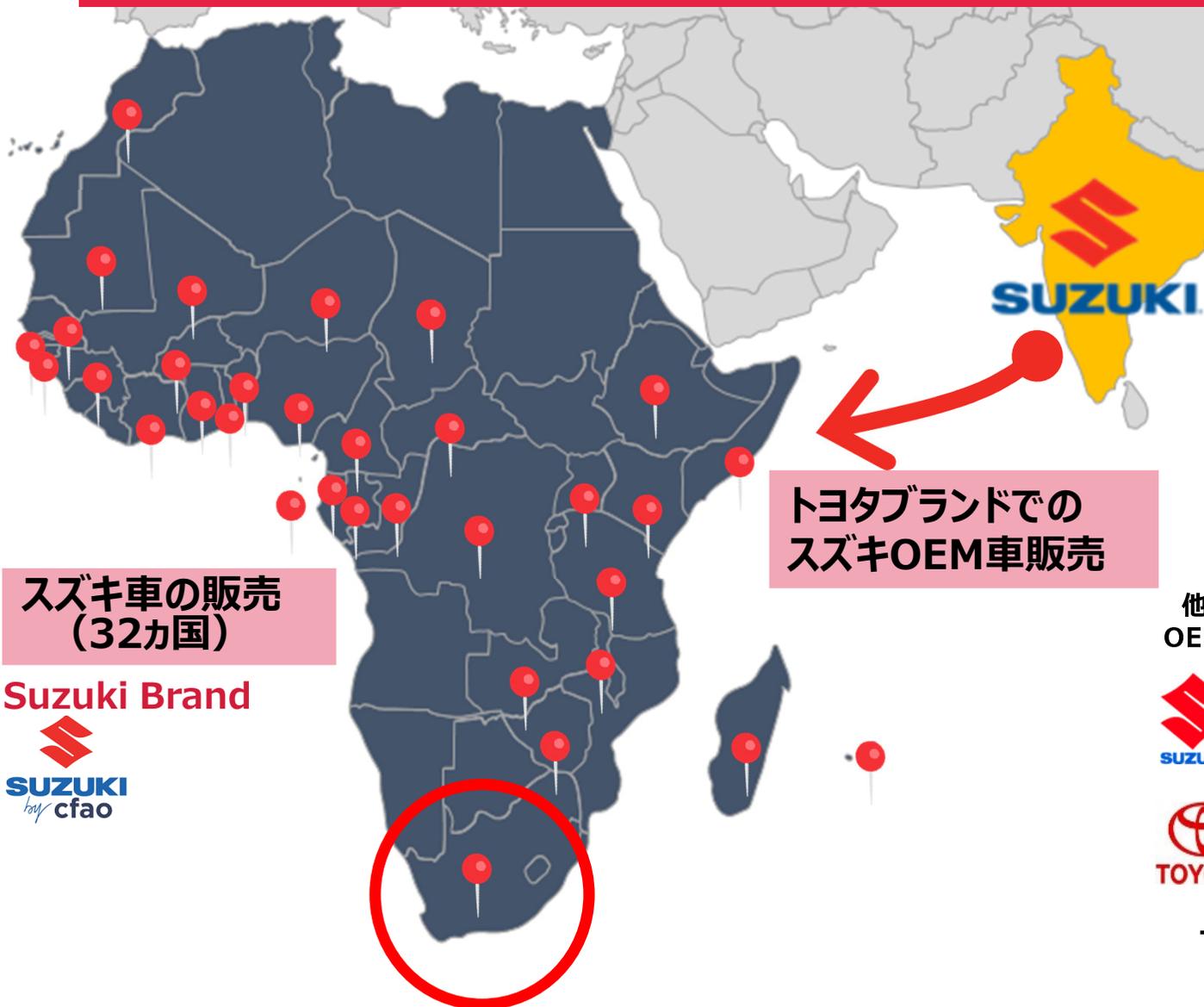
小売り分野の発展、
アフリカ事業の
更なる成長へ



※1:サブサハラ：サハラ砂漠より南の地域。北アフリカ以外の地域。

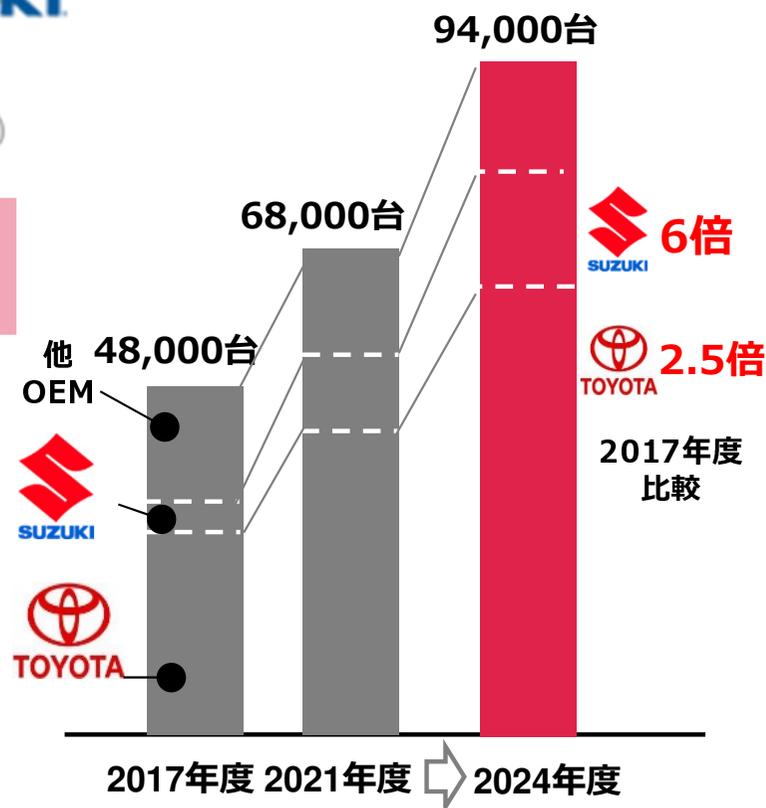
※2:B2B・・・Business to Businessの略。企業(法人)から企業(法人)への企業間取引
B2G・・・Business to Governmentの略。企業(法人)と政府との取引

モビリティ ～川下事業の拡大～



南アフリカ最大の自動車ディーラーネットワーク
(自動車販売店100店舗、フランチャイズ113店舗)

【今後の展望】
当社出資代理店を通じた
自動車販売台数



ラインナップの
多様化

ヘルスケア ～生産から小売 一貫したバリューチェーン～

TTC/CFAOグループがアフリカで初めて医薬品小売分野に進出

現地生産

卸売

小売



- アフリカ22カ国で展開
- 8,600の薬局/病院へ毎日お届け
- 取扱商品数31,000点、
- 取扱メーカー500社との取引



- 2014年設立
- 東アフリカ最大の調剤薬局チェーン
- 顧客数170万人
- 100店舗(ケニア, ウガンダ)



Goodlife社とCFAOの強みを活かし、
東アフリカの高品質な医薬品への
アクセス向上に貢献

低所得者層への拡大計画

消費財 ～高品質・競争力のある価格で提供～

顧客に合わせた3つの店舗フォーマットを展開



ショッピングモール



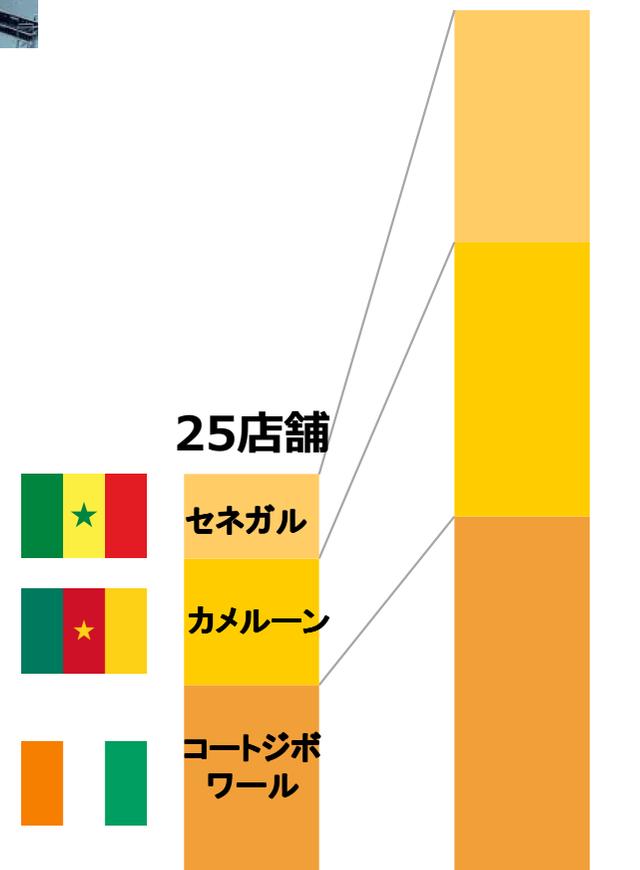
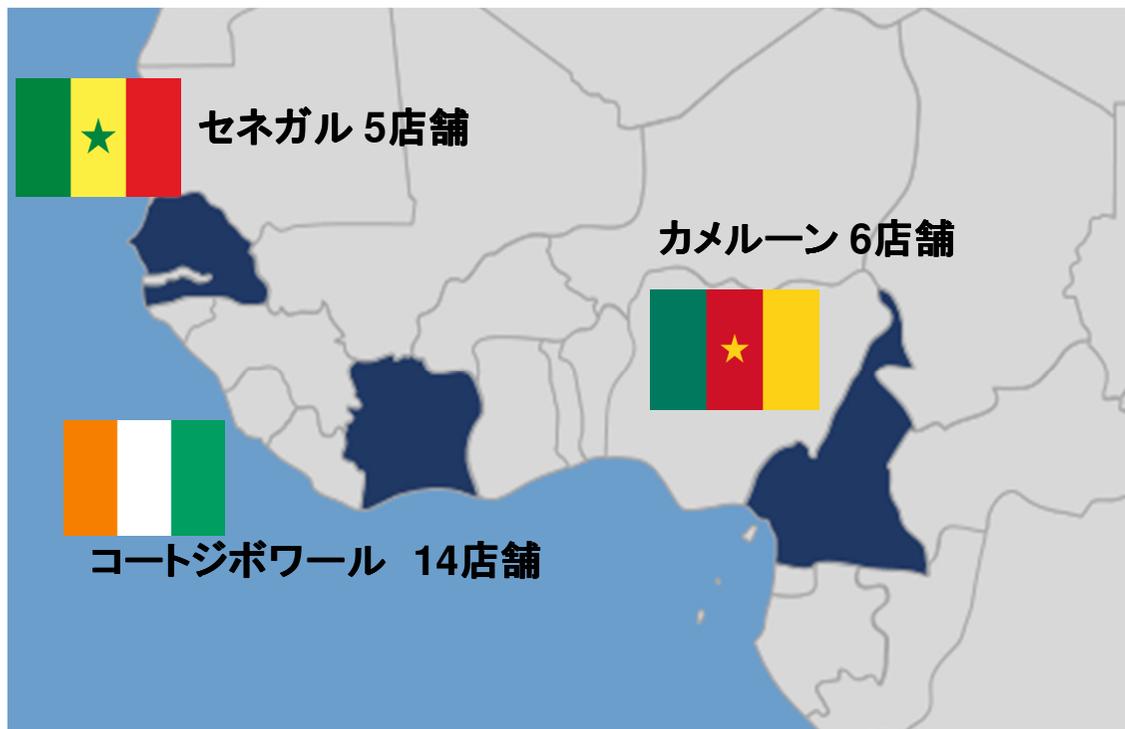
スーパーマーケット



倉庫型店舗

【今後の展開】店舗数の拡大

30~40 店舗



22年12月 → 2024年度

コートジボワール、カメルーン、セネガルに注力し、
アフリカの中産階級の消費者の需要に応える

電力・インフラ・テクノロジー ～CNを促進する取組～

クリーンエネルギーの創出

再エネIPP(独立系発電事業)プロジェクトへ投資



地熱発電



太陽光発電



風力発電

クリーンな電力の使用

「Solar 4 savings」アクションプラン

化石由来の電力を2024年度までに▲25%削減



CFAO Kenya



Senegal Supeco (Carrefour)

クリーンな自動車の普及推進

HEV/PHEV販売の加速



南アでのHEV Battery 3R取り組み
循環型経済への貢献



アフリカ × デジタル変革

次世代モビリティ・ヘルスケア事業の創出に向けたアフリカ・コーポレートベンチャーキャピタル機能強化
熱き起業家と、社会課題解決と次世代事業創造を目指す



Mobility 54 概要

設立: 2019年10月
投資予算: 61M EUR
(1・2号ファンド計)



Health 54 概要

設立: 2022年1月
投資予算: 10M EUR
(1号ファンド)

【投資事例】

アフリカ物流産業デジタル化
"OnePort 365"



Health 54出資一号案件
Lifestores Healthcare



アフリカ向け国際物流
プラットフォーム



アフリカ国内物流
(Mobility 54投資案件)



デジタル化による一気通貫



薬局向け
B2Bマーケット
プレイス事業

Lifestores Healthcare社

当社の重点戦略



5つのワーキンググループ



カーボンニュートラルの取り組み

商魂

現地 現物 現実

チームパワー

カーボンニュートラルの実現に向けた取り組み

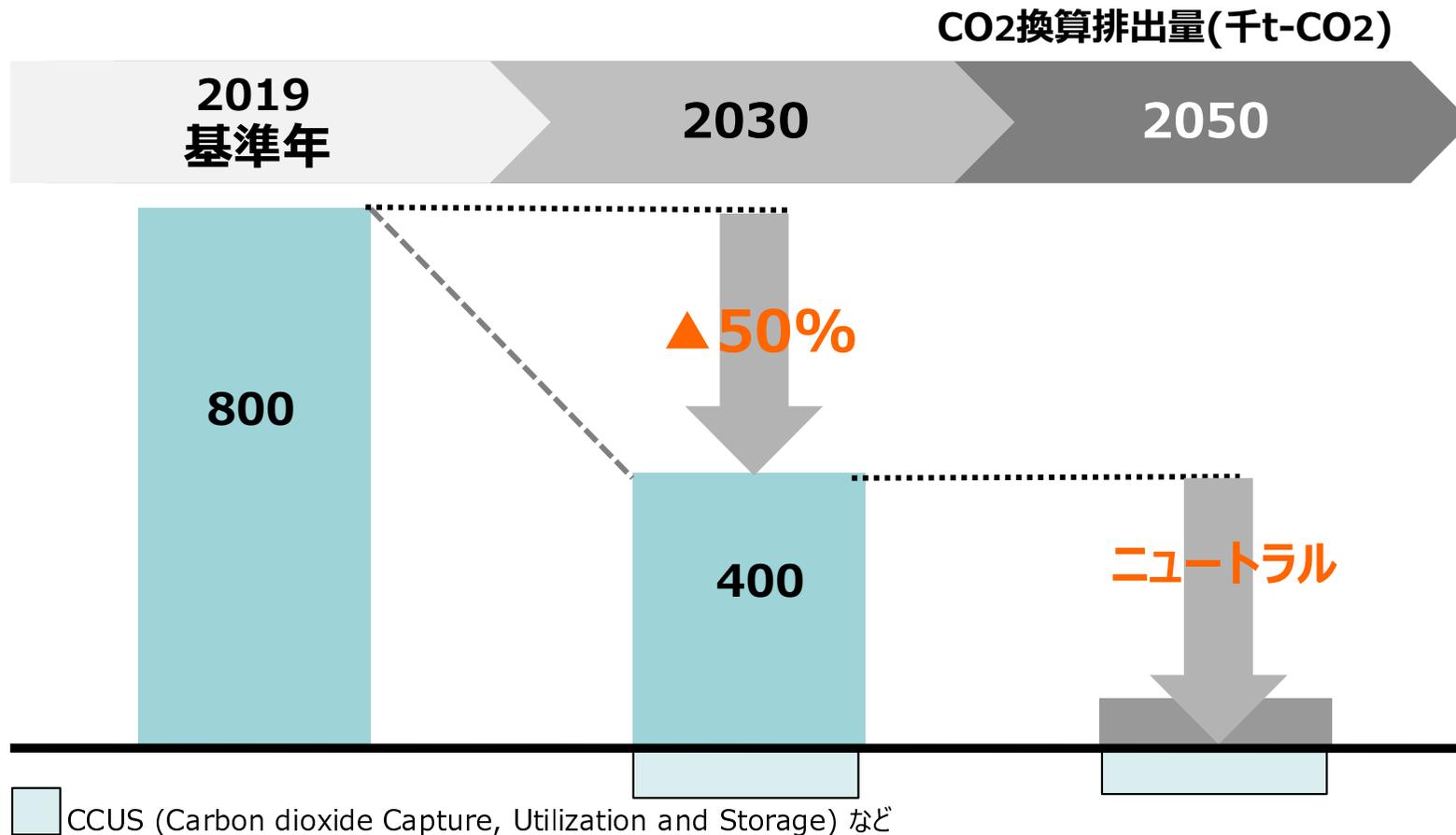
Mission

未来の子供たちに、よりよい地球環境を

Vision

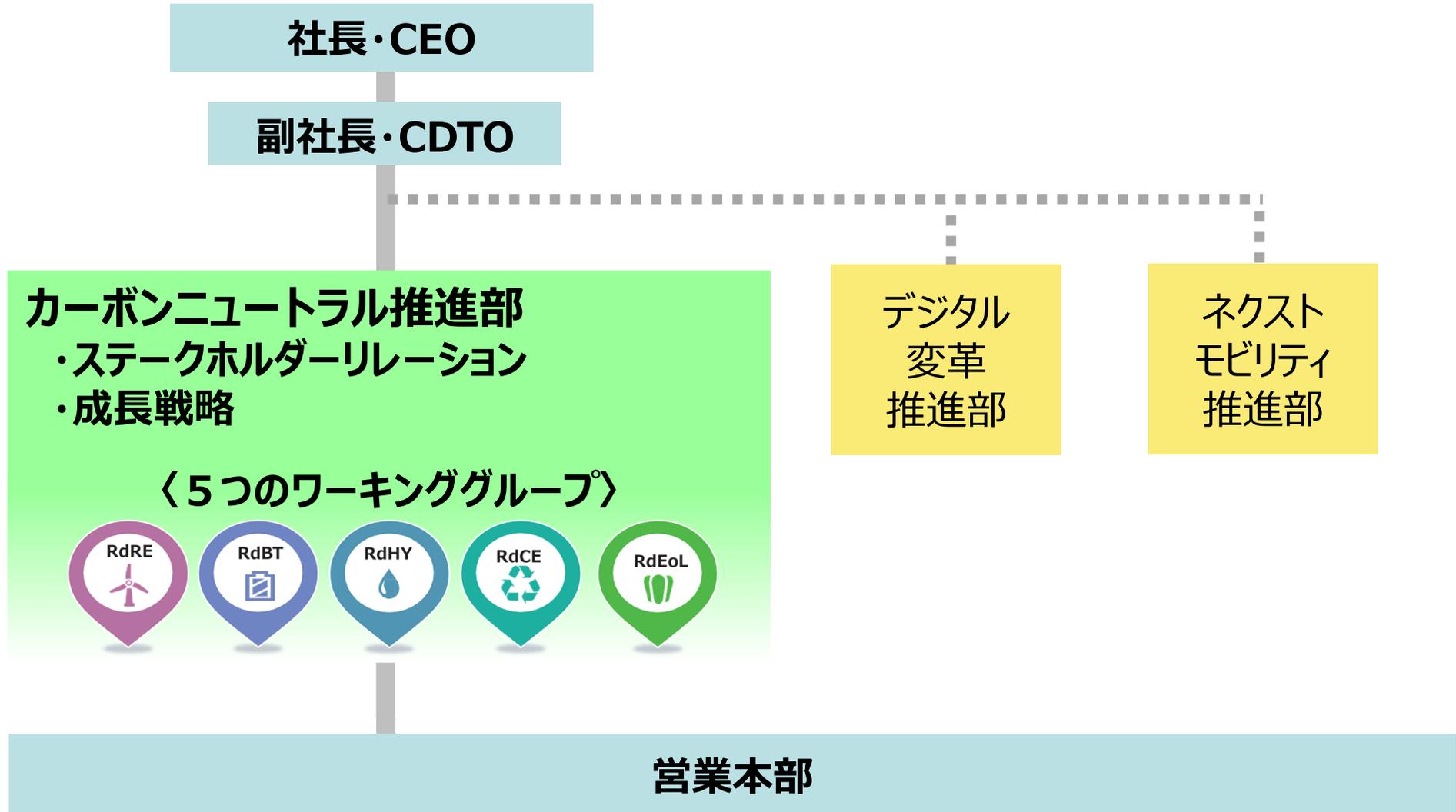
リーディング・サーキュラーエコノミー(CE)・プロバイダーへ

豊田通商グループ カーボンニュートラル宣言



カーボンニュートラルの実現に向けた取り組み

推進体制



GHG削減に貢献する事業領域を伸長



2022年8月1日
ユーラスエナジーホールディングス
100%子会社化
1,850億円の投資実行

2030年までに
1.6兆円以上

目次

I. 会社概要～豊田通商とは～

II. 業績推移

III. 当社の重点戦略

■ 再生可能エネルギー

■ アフリカ

IV. 株主還元方針

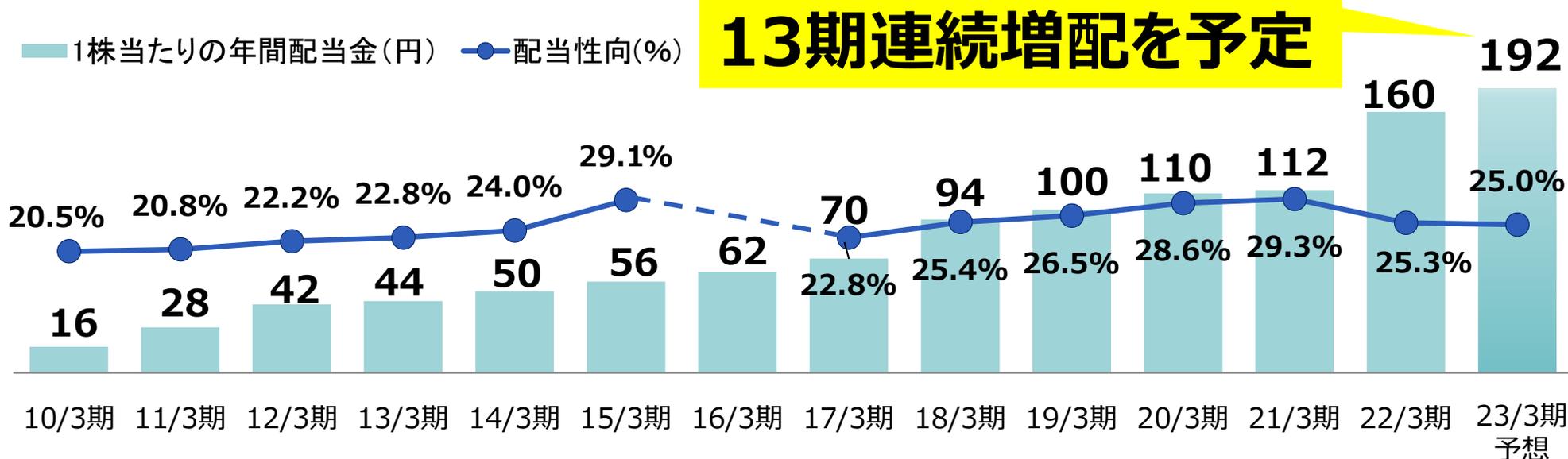
株主還元方針、2023年3月期 配当予想

株主還元方針

連結配当性向 25%以上を基本方針とし、

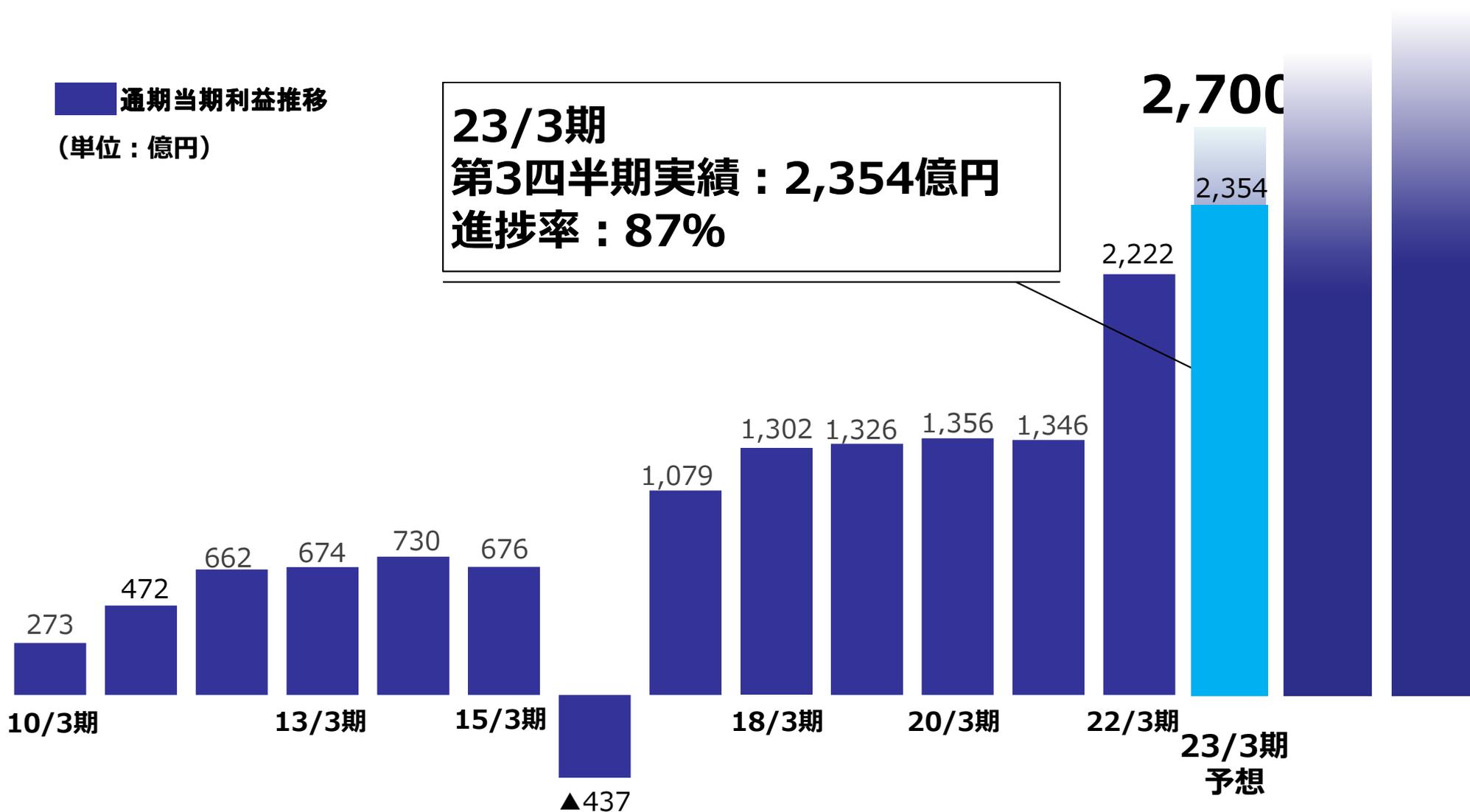
安定的な配当の継続並びに1株当たりの配当の増額に努めていく

	22/3期 実績	23/3期 予想	増減額
中間	70 円	96 円	+26 円
期末	90 円	96 円	+6 円
年間	160 円	192 円	+32 円



2023年3月期 連結決算概要

- ・23年3月期 通期予想を **税後利益 2,700億円（過去最高）** と想定
- ・ビジネスモデルの変化による、**実力値の増強**



当社HP紹介

投資家情報

個人投資家の皆様へ

個人株主・投資家の皆様に豊田通商をより深くご理解いただけるよう、当社の戦略、業績、配当方針についてわかりやすくご紹介します。

豊田通商について



当社の成長戦略



グループ業績



配当方針



もっと詳しく
知りたい方へ



豊田通商

で

検索



当社個人投資家HPへ是非アクセス下さい！

<https://www.toyota-tsusho.com/ir/individual/>

